

東和作戦会議 会報 No.51

令和8年1月15日発行

一般社団法人 東和作戦会議



〒028-0114

岩手県花巻市東和町土沢5区372

電話: 0198-29-6500 FAX: 0198-29-6501

メール: omoshiro@leaf.ocn.ne.jp

ホームページ: <http://touwa-noutabi.com/>

広報担当 多田悦子



令和7年産

椿油完成

小瓶(18g)132本

大瓶(120g)13本

椿の種提供者=13名

収穫量=18kg

花がたくさん咲いた割には実の収穫が少なかったようです。沿岸でも同じ現象だそうです。やはり暑さの影響でしょうか。



謹賀新年

素晴らしい一年になりますよう

心からお祈り申し上げます

本年もどうぞよろしく

お願ひいたします

一般社団法人東和作戦会議
代表理事 薄衣恵孝



空き家アドバイザー協議会花巻支部から来訪

令和7年12月4日(木)11:00~12:00

空き家アドバイザー協議会花巻支部が令和7年11月に発足したことから、同協議会鎌田支部長(松園総業)他3名の来訪を受け、菅野、大石各理事と岡田移住コーディネーターが対応しました。

「空き家アドバイザー協議会は全国に85の支部があるが、ほとんどは建設系の実働業者が中心。花巻支部では不動産業者や行政書士、民泊経営者等もいるものの、利用者需要を把握しにくいのが難点。空き家物件活用の流れを作りたいがそのためには民間を含むスポンサーが必要であり、相談活動の実態と地域の反応、対処方法の具体例を知りたい。また、相談活動との協働により、行政や地域とどう連携できるか、方策を知りたい」との意向で、積極的な相談活動を展開している東和作戦会議の実情を知るために訪れたものです。

東和作戦会議からは、一般社団法人東和作戦会議の成り立ちと、空き家相談受託事業を行った経緯や、相談事業における現状、課題などについて説明しました。

特に感じていることは、空き家所有者は家財整理や処分や改修に困り、その結果相続放棄や崩壊まで放置(固定資産税増額回避策)の例も増えている。

個人の財産やプライバシー事項などを知ることになるので、守秘義務と法的な制限の遵守に配慮が重要。信用と情報が相談活動の要となる。

空き家アドバイザー協議会との連携については非常に興味があり協力体制が整うことと希望すると伝えました。



東和農旅セット 2025 100セット完売!



地元物産をお届けする「東和農旅セット」今年は、8品目入り4,000円で予約販売を行い100セットが完売しました。11月30日作戦会議有志が箱詰め作業を実施し、発送しました。受け取った方々から感謝のことばが続々と寄せられました。

2025 花巻おためし協力隊ツアー開催

来年度以降に、花巻市での地域おこし協力隊を考えている皆さんを対象に、市内ツアーが2回にわたり開催されました。

1回目=10月3日(金)~5日(日)

参加者は5名(ご夫婦1組含む)。

東和には10月4日の午後に到着。農村滞在施設(移住後の住居のイメージ)を見学後、東和おもしろ作戦研究所で、移住定住・空き家相談などの実態と、移住コーディネーターの活動内容について視察。その後、土沢まち歩きで歴史とアートに触れ、夕方はフォルクローロで花巻の暮らしをイメージしながら交流を深めました。



2回目=12月5日(金)~7日(日)

参加者は4名。東和には初日の5日に到着。内容は前回と同じですが、夜は居酒屋で交流を深めました。また、最終日にはふるまつ自然農園を訪れ、自然農法について学習しました。

※ふるまつ自然農園=双子で東京から東和に移住しパーカルチャーを実践しながら野菜や穀物を栽培しています。

来年度の地域おこし協力隊の応募者は6名、そのうち5名の方がツアーに参加したということです。これから審査が行われますが、皆さんに花巻で活躍していただきたいものです。

予告

「花巻・遠野おためし移住ツアー」が開催されます。

花巻市と遠野市が共同で行う花巻・遠野移住お試しツアーが、1月30日~2月1日までの日程で開催されます。このツアーは、花巻・遠野地域に関心のある方や移住を考えている方々を対象に全国に呼びかけて行うもので、予定の10名は募集開始後すぐに定員に達しました。

三日間にわたり、花巻と遠野で各々趣向を凝らした体験ツアーとなっています。花巻エリアでは、30日に、東和おもしろ作戦研究所で、市の補助事業や移住相談の対応などについて説明を聞き、ワンディシェフで昼食。その後東和中学校で生徒による地域学習成果の発表を聴くほか、和紙による「はがき作製」体験を行う予定です。

トピックス

昨年9月に開催された東和棚田のんびりRunの特集記事を掲載します。

東和棚田のんびりRun からつながる！広がる！わが町の未来！

記事：小田美香子



棚田を舞台にした“オール東和”的共創イベント

昨年9月21日(日)「第7回 東和棚田のんびりRun」が全国各地から約260人のランナーを迎えて開催されました。秋の実りに包まれた東和の棚田を舞台に、賑やかで温かな一日となりました。のんびりハーフの部(21.6km)、親子でショートの部(4.6km)、そして今回新設された65歳以上シニアの部(4.6km)の3部門で実施。黄金色に輝く稻穂と里山の風景の中、参加者はそれぞれのペースで“のんびり”とコースを駆け抜けました。



中学生が支える大会運営

今年度も東和中学校3学年約60人が総合的な学習の時間「東和創造学」の一環として棚田Runに参画しました。生徒たちはガイドランナーや、8ヵ所に設置されたエイドでの給水・こびり(おやつ)提供などを担当。参加者からは「中学生の声かけに元気をもらった」「地域全体で迎えてもらっている感じがする」といった声が多く寄せられました。



第1回から参加者は約4倍に

棚田Runは、2018年のワークショップで生まれた「棚田を活用したマラソンをやってみたい」というアイデアをもとにスタートしました。準備期間3ヶ月で開催された第1回の参加者は約60人。その後、コロナ禍をオンライン開催で乗り越え、今回で7回目を迎え、参加者数は当初の約4倍にまで成長しました。

棚田Runをきっかけに東和とつながり、関係人口として地域を応援してくださる存在が広がっています。

学校と地域の連携

改めて感じられたのは、学校と地域の連携・協働の力です。東和中の生徒たちは、地域の大人や行政、団体と共にイベントを創り上げるプロセスを体験しました。共に考え、共に動き、共に喜ぶ。その積み重ねが、地域への誇りや主体性を育み、地域そのものを形づくっていきます。

持続可能な地域づくりのために

「学校と地域でつくる・つながる東和の未来」

2月21日9:30～東和中学校多目的ホールで開催

次につなげていく、その節目として、2月21日(土)、「学校と地域でつくる・つながる東和の未来」が東和中学校で開催されます。棚田Runをはじめ、これまでの実践を振り返ながら、この先の東和の教育と地域の姿を、学校と地域が共に考える場です。

地域の賑わいを生み、東和の魅力を発信する取り組みに参画する方、大歓迎のこと。共に未来を拓いていきたいものです。

